

令和3年度50周年特別事業秋の史跡巡りin英彦山

- 期日：令和3年11月7日（日）
- 開催場所：奉幣殿、財蔵坊、座主院、花駅周辺
- 参加者：25名（大人：12名、小学生10名、
○ 中学生：2名、高校生1名）
- ねらい：国指定史跡である英彦山において、様々な史跡を巡り、文化や歴史に触れることにより、豊かな感性、郷土に親しむ心を育む。



【於：財蔵坊】

財蔵坊は、修験者が暮らした家です。英彦山観光ガイドより、英彦山の名前の由来などの説明がありました。

また、英彦山ガラガラ絵付け体験では、竹の絵筆を手にとって、赤色や青色の絵付け体験をして家族みんなで楽しんで作りました。



【於：英彦山神宮（奉幣殿）】

英彦山観光ガイドより、英彦山神宮（奉幣殿）の建立における説明がありました。

参加者は、うすい木の板を重ねて作った屋根の精巧さと迫力ある大きな鈴、思わず目を引く赤色の社殿に見とれて聞いていました。

また、参拝や写真撮影、社務所内でお守りを受けたり御朱印の記帳したりしました。



【於：座主院】

文化財保護課、英彦山観光ガイドより、座主院の史跡説明がありました。

参加者は、日頃、見られない修験者等が作った石垣や階段、庭園を見て、「当時の優雅な暮らしを想像することができました。壮大さを感じることができました。」など感想を頂きました。



【肖像：九州大学了承済】

【全体を通して】

天候に恵まれ、全員が英彦山の紅葉を目にしながら、散策ができました。

参加者からは、「参加してよかった。また、史跡巡りに参加したい。」「滅多に見られない座主院は想像以上によかった。」「英彦山の史跡巡りが満喫できた。」などの声を聞くことができ、安全に楽しいひと時となる事業となりました。